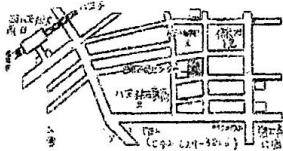
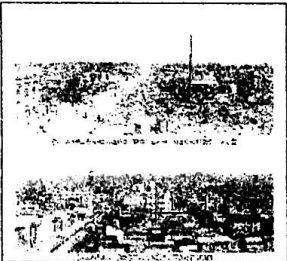


テーマ	地域の教材化 <b>小宮地域の昔～今 (小3)</b> —八王子空襲と小宮地域の空襲—
報告	栗原せん三 八王子市立小学校講師
日時	2月17日(土) 2時～4時30分
会場	台町市民センター



## 内容

小学校3年生の3学期は昔のことや今との違いなど、歴史認識の初歩を学びます。

おじいさん、おばあさんの子どもころの遊びを楽しんだり、洗濯板を使って洗濯したり、七輪で火を起こしたりしながら、昔の生活を想像したり、今の生活との違いを学んでいきます。

また、学区の地域に出かけ、お寺などの古い建物やお地蔵さんなどの道端の石碑を見学し、昔の時代に思いを馳せます。今回のレポートでは、(1)小宮地域で見学できる歴史遺産を3年生が楽しく、分かりやすく学習するにはどう教材化したらよいか、その試みを報告します。その(2)の、授業報告では「地域に戦争があったころ」をとりあげました。小宮地域にまで及んだ八王子空襲は、すでに78年前のこととなりました。おじいさん、おばあさんから聞いたことがあるという子どもクラスに数人しかいません。このような現実にある子ども達に「戦争と平和」の学習をどう実践したらよいか、今回は、若い先生たちが学年で授業案を検討し、「疎開児の生活を通して戦争を考える」授業を実践しました。

戦争を知らない世代の先生がたの意欲的な実践として注目したいと思います。

なお、この報告は昨年9月の古屋先生の報告を共同研究者の栗原が補充した内容となっています。